

トキキング ロード  
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第 63 回〕

## 落語で復興

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

能登半島地震から4カ月が経ち、石川県の志賀町で落語会をしてまいりました。金沢駅に着くと、観光客などたくさんの方でごった返していて、本当に地震が起きた場所なのかと思うくらい活気がありました。そこから車で1時間ちよつと行くと屋根瓦が取れてしまっている家があり、さらに先に進み志賀町に着くと家屋が倒壊して地面がひび割れており、地震のすさまじさを感じました。

地元の方のお話では、その辺りは比較的被害は小さい方とのことでしたが、避難所や仮設住宅で暮らしている方も大勢いらつしやる様子。今回はその避難所で落語をさせていただきました。避難所に入ったのは初めてのことだったのでドキドキしていたのですが、地震から月日も経っていることもあり住んでいる方も元氣な方が多くて安心しました。また食料や物資なども豊富にあるようで、有名企業の支援がすこく行き渡っている印象を受けました。本当にありがたいことですね。

落語会をやらせていただくと皆様たくさん笑ってくださいました！帰る際には「また来てね」と声をかけてい

ただいたり、「久しぶりにたくさん笑った」と言ってくださったりしてお役に立てたようでした。これからも微力ながら復興に携わっていきいたいと思います。頑張れ北陸!!

さて北陸の旧国名といえば、いろいろな有名人を連想します。福井や岐阜の一部を含む「越前」といえば大岡越前守忠相。かの大岡裁きで有名で、落語でも『五貫裁き』や『三方一両損』に登場。お隣富山はふんどしでもお馴染み【越中】。こちらは『竹の水仙』や『井戸の茶碗』で名人の作には金に糸目をつけない細川越中守。『抜け雀』をさらに高値で買おうとした大久保加賀守の【加賀】はご存じ、百万石の石川県。しかしなんと、越前守も越中守も加賀守も全然その地方にいたわけじゃないんだそうで…。『加賀の千代』のお千代さんはちゃんと現在の石川県白山市にいた人物だとか。

ぜひ、北陸を訪れた際はこれらの嘶を聴いてみてください。

## profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。  
2009年林家木久扇に入門  
2013年二ツ目昇進。  
2023年9月下席より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長！  
趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。  
空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。  
初の著書『師匠!』発売中

## 林家希林とかしめ・洋平の今夜は話さナイト

出演 林家希林、立川かしめ、大西洋平  
毎週土曜日 24:30 ~ 25:00  
K-mix (静岡 FM) で好評放送中!

radiko プレミアムにご登録いただくと生放送にてお聴きいただけます。静岡エリアの方はradikoにて一週間タイムフリーでいつでも!

